

株式会社ソニックテクノロジー

代表取締役 須賀 幸次



社長からのごあいさつ

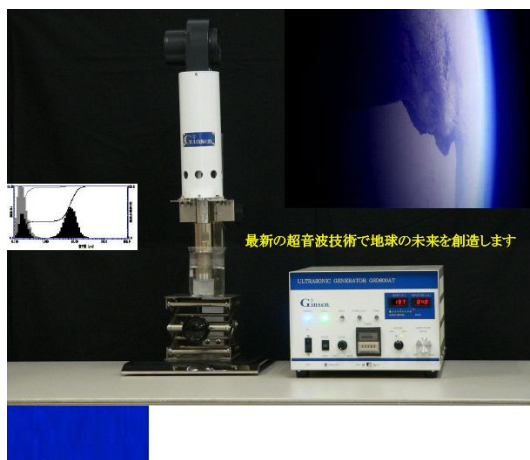
最近よくナノテクノロジーという言葉が聞かれますが、様々な材料をナノ化する筆によって従来に無い基礎物性が得られ、新たな市場用途が広がって行くために、各企業間などで争って材料開発を行っております。

その素材である各材料をナノ化、分散を行う装置として、弊社の強力超音波が利用されております。その超音波装置の中でも、特に差別化出来る装置を提供して行きたいと日々努力しております。

又、超音波を利用した共同研究を含め新たな商品や用途開発を並行して考えております。

【製品の紹介】

超音波分散機
FULLオートチューニングモデル
GSD600AT/GSD1200ATシリーズ



従来の耐久性・信頼性に加え、使い易さを徹底追求しました。

■特徴

超音波分散技術は、水系・有機溶剤系を問わず、サンプルに過大な物理的シエアを掛ける事無く一次粒子径まで分散可能な画期的な手法です。超音波分散における最重要事項は、正確なチューニングと、ホーン先端から照射される振動振幅値です。サンプルの状態に追従し、常に一定の振動振幅値を保ち、常に効率の良い正確な発振を行う事が、分散ムラの無い高品質な製品造りに直結します。

■FULLオートチューニング

オートチューニング回路&リアルタイムチューニング回路により、従来マニュアルで行っていたチューニング操作を、スタートさせるだけでリアルタイムにチューニングを行います。

■低振幅回路

サンプル負荷、温度、粘度等の変化に係わらず、常に設定した振動振幅値を一定に保ちます。

【企業データ】

(平成20年8月現在)

- 会社名 株式会社ソニックテクノロジー
- 事業内容 超音波機器の開発、製造、販売
- 所在地 三郷市早稲田3-16-17
- 資本金 1200万円
- 連絡先 048-957-1850

- 創業年月 平成19年8月
- 従業者数 3人
- URL <http://www.sonic-tech.co.jp/>

社長に聞く！

Q 御社の事業概要を教えてください。

A 当社は、超音波エネルギーを利用して、部品を洗浄したり、粉体粒子を微細化する機器を開発・販売する事業を展開しています。超音波の用途はたいへん広く、粒子の分散や脱泡、洗浄など様々なことに利用することができます。顧客は、化学、金属、電機、電子、製薬業など多岐に渡ります。

Q 創業までの経緯をお聞かせください。

A 「超音波機器の可能性をもっと産業界に広めたい」と考えたのがきっかけです。当社は、超音波機器製造会社の株式会社ギンセンと提携して業務を行っています。当社で開発した製品は、ギンセンで製造しています。ギンセンは、この業界の老舗ですが、それゆえ新分野への展開には積極的ではありませんでした。そこで、ギンセンで技術開発を担当していた新倉、超音波と言う専門分野に熟知して最も経験豊富な増淵、そして研究機関の産業技術総合研究所に人脈を持つ私の3人が、それぞれの得意分野で力を合わせ、事業展開することを決意しました。それからというもの、毎週集まり、超音波技術の動向や顧客情報、事業プランなどについて話し合い、平成19年8月1日に株式会社ソニックテクノロジーを設立し、事業を開始しました。

Q 開業後の状況はいかがですか？

A ギンセンとは定期的に会議を持ち、お客様のニーズに合った機器を迅速に提案できる営業体制、生産体制を確立しました。この1年間の販売については、3人で持ち寄ったユーザーを中心に営業展開し、売上高は1億1千万円を確保することができました。また、サンプル試験の実施と併せて実験機器の展示をするスペースとして、今年6月に戸田にテクニカルセンターを新設しました。

Q 現在の課題は何ですか？

A お客さまは、超音波の用途はメガネレンズの洗浄や医療用の検査くらいしかご存じないのが現状です。この1年間の活動を通して、超音波の用途についてもっと知ってもらう必要があると感じました。そのため、地道な努力を続けていかなければならないと思っています。今後、展示会への出展などPR活動に力を入れていきます。国際ナノテクノロジー総合展や粉体工業展などの専門展示会に出展し、各業界の抱えている課題について情報収集し、解決策を提案していきたいと考えています。

Q 今後の展望をお聞かせください。

A 2年目を迎え、新規の顧客開拓と買い替え需要への対応をしていかなければなりません。そのため、超音波技術が応用可能な新分野を発掘するとともに、隙間的なニーズを拾い上げていきます。また、会社を発展させるためには営業人材の獲得が欠かせません。顧客増加につなげるためにも、積極的な採用を考えていきます。そして、3～5年先には現在主力製品である分散機器の他に、中核となる機器をあと2つは育てていきたいと考えています。

創業を目指す方へのメッセージ

人脈と言う宝物があるあればこそだと思います。ベンチャー支援センターは安心して相談出来る所です。まずは第一歩を！

アドバイザーのコメント

超音波の可能性に魅せられた3名が、それぞれの強み(役割)を活かしながら事業を展開しています。平成19年度いちおし「起」業プラン大賞の最優秀賞に輝いた企業ですが、地道な努力を続け、着実に業績をあげています。